

宮守銀河通信

Vol.3

2020.10.15

宮守銀河通信とは宮守地区のまちづくりの『今』を伝えるための不定期発行の通信です。今回は、指定管理者制度移行への運営組織準備委員会のこれまでの経過と各チームの最新の取り組み状況等をお知らせします！！

業務委託制度に向けた 運営組織準備委員会

令和3年4月1日から、宮守地区センターは地域で運営をしていく業務委託制度に移行になります。それに向けた運営組織準備委員会が立ち上げられ、協議を進めてきました。

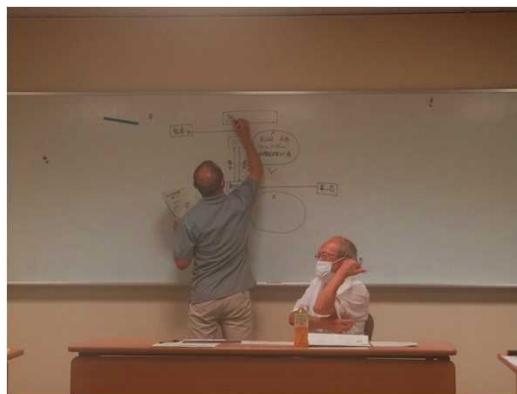
6月25日(金)に第1回の会議が開かれ、遠野市から地域づくり応援室長が出席し、業務委託制度に係る説明がされ出席した委員はこれからのスケジュール等についての確認をしました。

第2回の会議は、7月11日(土)に行われ運営組織の規約や体制、について話し合われました。8月7日(金)に開催された第3回会議では、運営組織の事業や名称等について協議をしました。第4回会議は9月15日(火)に行われ、これまでに行われてきた協議内容の調整をしてきました。

第5回の会議は10月5日(月)に行われ、話し合われてきた内容の最終調整が行われました。今後は、宮守地域づくり連絡協議会の会議で運営組織の概要の説明をし、組織を立ち上げる予定です。



第2回会議



第3回会議

☆各チームの取り組み状況☆

♪ にぎわい team

にぎわいチームでは、ウォーキング事業としてウォーキングコースの設定作業を行っています。8月1日(土)、9月6日(日)、10月4日(日)に、実際に現地を歩いてきました。調査したコースは、いずれも道の駅みやもり(MM1)を出発点に8月1日(土)は、銀河の森コース、9月6日(日)は、遠野西中学校を折り返しての新町街道コース、10月4日(日)は笠平住宅地を經由し、田瀬ダム方面を折り返してのコースと様々なコースを歩いてきました。



銀河の森コースを調査



めがね橋付近を歩いている様子



なりわい team

なりわいチームでは、遊休農地を活用してハuckleベリーを栽培し、収穫した後ジャムづくりを行いました。栄養成分が多く含まれているとされているハuckleベリーは、栽培する手間がかからずジャムにするとおいしくいただくことができます。生で食べると美味しいものではなく、独特な匂いもありますが、ジャムにすることでマイナス部分を消し、栄養成分を生かしたものになるそうです。

6月に苗を植え、10月10日(土)に収穫を行い、10月12日(月)にジャム作りを行いました。ジャム作りに参加した方々から「美味しくできたね🍷」ととても好評でした。今後も、今回チームで取り組んだ結果と、ガーデンハuckleベリーを活用し先進的な取り組みを行っている情報を得ながら地域の産物として可能性を引き続き検討していきます。



ハuckleベリー収穫後



ジャムづくり